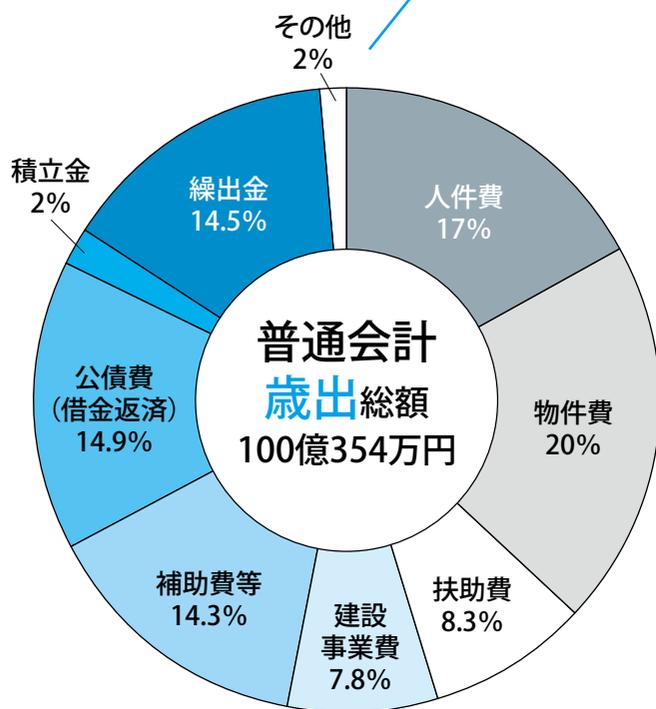
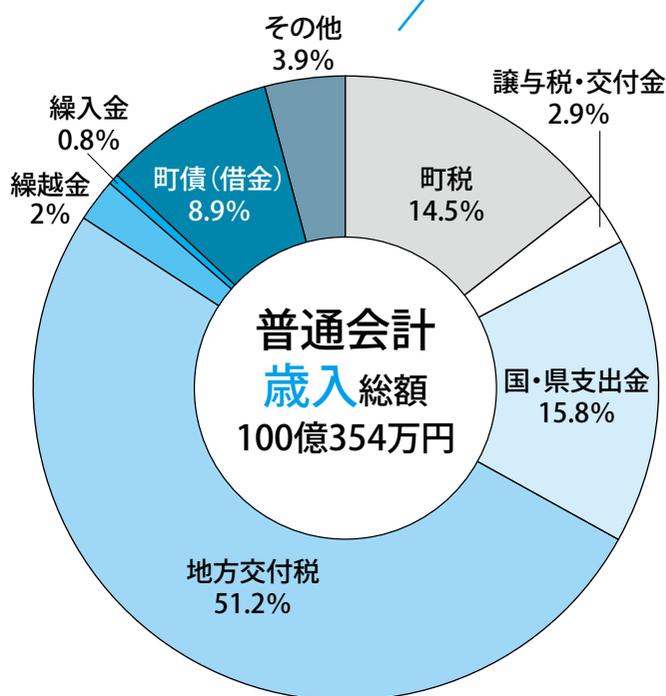


使いみち



財源



町長の施政方針

「アクション・チャレンジ大山町」 を行動目標に



地域経済はいまだ回復せず、その立て直しに努める。徹底した行財政改革を継続し、簡素で効率的・効果的な行政システムを作って、持続可能な財政への転換をはかる。

合併して10年目。安全で安心して暮らせる、元気で

にぎわいのある、若者が住み続けたい魅力あるまちをめざす。そのため、平成26年度は「アクション・チャレンジ大山町」を行動目標に、次の3つのアクションを柱に進める。

① 少子化・定住化対策アクション

出逢い・結婚・妊娠・出産・育児・子育ての仕組みづくり。移住定住サポートセンターを核とした定住促進。

② 産業振興アクション

本町の特色を生かした大山ツーリズムによる観光交流ビジネス化。循環型農林水産業の展開と担い手の確保・育成。再生可能エネルギー事業の推進。

③ 町民参画アクション

住民・行政・民間力が一体となった新総合計画「未来づくり10年プラン」の策定。まちづくり地区会議や地域自主組織による自主・自立的活動の推進。支え合い・助け合い活動の育成と活発化。

これらを最重点テーマとして取り組み、「元気で、安心・安全・安定をめざしたまちづくり」を進める。